

保護者各位

「自己評価のご報告」

日頃より当園の運営にご理解、ご協力をいただきまして心より感謝申し上げます。
お子さまのご入園、ご進級から早いもので1年が経とうとし、日々いろいろなことを経験しながら頼もしく成長したお子さまたちの姿に職員一同、とても嬉しく思っております。

小規模園ならではのアットホームな雰囲気の中で、一人ひとりの豊かな個性を大切に育みながら保護者の皆さまとお子さまの成長を見守っていかれたらと思っております。

さて、先日はお忙しいなかアンケートにご協力いただき、ありがとうございます。集計ができましたので、まず「保護者アンケート結果」、次に「職員自己評価まとめ」、最後に「園としての自己評価」をさせていただきます、ここにご報告申し上げます。

1.保護者アンケート結果に関して

「保護者アンケート結果」アルタベビー浦和常盤園		回答率:62.50%		
No	質問項目	はい	どちらとも いえない	いいえ
1	当社の保育理念・保育目標について理解していますか	30.00%	60.00%	10.00%
2	職員はお子さんの気持ちを大切にしていると感じますか	100.00%	0.00%	0.00%
3	職員の言葉遣いや態度、服装等は適切ですか	100.00%	0.00%	0.00%
4	保育園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	90.00%	10.00%	0.00%
5	安全対策や感染症対策が十分取られていると思いますか	70.00%	30.00%	0.00%
6	お子さんが怪我をしたり、体調が悪くなったときの職員の対応は信頼できますか	100.00%	0.00%	0.00%
7	保育所で提供される食事・おやつはお子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	70.00%	30.00%	0.00%
8	不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員はきちんと対応してくれていると思いますか	70.00%	30.00%	0.00%
9	当園に満足されていますか	60.00%	40.00%	0.00%

項目1) 当社の保育理念・保育目標について理解していますか

3割の方はご理解いただいているとのご回答でしたが、残り7割の方が「いいえ」「どちらともいえない」とのご回答でした。

当社の掲げる理念として、日々の丁寧な関りによって健全な生活習慣の形成を促し、明るく前向きな姿勢を保つとともに、自分らしく元気な姿でより良い人間関係を自ら求め、将来国際社会で活躍できる子どもを育てる。という理念がございます。

人間形成がなされるといわれる大切な乳幼児期に、健康的な心身に欠かせない生活習慣の形成を促し、一人ひとりの個性を尊重した丁寧な関わりができるように日々、心掛けています。

ご利用される皆さまにも当社の保育理念・保育目標が伝わりやすいように情報の発信・共有の仕方を工夫して参りたいと思います。

項目2) 職員はお子さんの気持ちを大切にしていると感じますか

こちらはアンケートにご回答いただいた皆さまより「はい」とお答えいただきました。

日々、一人ひとりと向きあった保育を意識してきた中で「はい」とお答えになった方が100%という結果を受け、大変嬉しく思っております。

今後もお子さまの気持ちに寄り添ったていねいな保育ができるようにしてまいりたいと思います。

項目3) 職員の言葉遣いや態度、服装等は適切ですか

こちらは「はい」とお答えになられた方が100%という結果となり感謝しております。

子どもたちにとっては言語の獲得の時期となりますので、身近で過ごしている私たちがお手本となれるよう正しい言葉・ていねいな言葉かけが出来るように職員間で意識するようしております。

今後もお子さまたちにとって、より良い関わり方ができるように日々の保育を振り返りながら、職員一人ひとりの意識向上に努めて参りたいと思います。

項目4) 保育園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか

こちらは1割の方が「どちらともいえない」とご回答されており、一部の方に不快感を与えてしまったことについては深く反省しております。

毎日、保育室やトイレの清掃・玩具の消毒等を徹底しておりますが、全ての保護者さまにご満足いただけていない点については改めて保育環境の見直しを行い、改善を図っていきたいと考えております。

項目5) 安全対策や感染症対策が十分取られていると思いますか

こちらは7割の方が「はい」、残り3割の方が「どちらともいえない」とご回答されており

ました。

安全対策面では、園内外においてお子さんたちを安全に保育するためには、どうしたら良
いかを常日頃より職員間で話し合いながら対応をしておりますが、園内で取り組んでいる
ことが保護者さまへ明確に伝わっておらず、一部不安を感じてしまわれた方もいらっしや
ったのではと感じております。

当園では天気の良い日は戸外での活動を積極的に取り入れ、自然との触れ合いを通じてお
子さまの健やかな成長に繋がるようにカリキュラムを設定しております。

園外活動の際は引率者を複数配置し、園外活動を行う場所の共有、出発・帰園時にお子さん
の人数を確認するなど安全に戸外活動が行えるように取り組んでおります。

また散歩コースにおいて危険なスポット(工事中など)があれば職員間で共有するようにし
ています。

その他、夏場は熱中症対策として、その日の暑さ指数をチェックし戸外活動の有無の判断を
行い、お子さんの体調面に留意しながら活動を取り入れております。

感染症対策面では、コロナ禍もあり日々の保育室の消毒・換気、お子さんが触れるものを
こまめに消毒するなど感染防止対策に努めて参りました。

保育園は集団生活の場でもあるため、感染症が発生しやすい環境下ではございますが、今後
も感染予防対策を講じ、早期発見に努めて保護者の皆さまへも情報共有を行っていきたく
いと思っております。

項目6) お子さんが怪我をしたり、体調が悪くなったときの職員の対応は信頼できますか

こちらに関しましては「はい」とご回答された方が100%の結果となりました。

お子さんの怪我が起きないように安全面に十分に気を付けておりますが、お子さん同士の
噛みつきによる怪我や、戸外で元気よく走り回っている時に転倒して怪我をしてしまう
という場面もございました。

噛みつきに関しては、子ども同士の関わりを見守りつつも怪我に繋がらないように、保育者
が仲立ちとなりながら未然に防げるように努めていきたいと思っております。

今後も怪我や事故などが起きた際には保育者間で必ず共有し、対応策を話し合った上で保
護者さまへも共有をさせていただき、安心してお子さまを預けていただけるよう取り組
んで参りたいと思っております。

項目7) 保育所で提供される食事・おやつはお子さんの状態に配慮し、工夫されたものにな っていると思えますか

こちらは「はい」とご回答された方が7割、「どちらともいえない」とご回答された方が3
割という結果となりました。

お子さまたちにとって、お食事が楽しい時間となるよう、また美味しいと思っていただける
ように調理方法を工夫したり、盛り付けを工夫したりと取り組んでおり、苦手な食材があっ

たお子さんが「おいしい」と言って食べられた際には、職員みんなで喜んでおります。食育活動では旬の果物に触れたり、観察したりして興味をもっていただき、当日のお給食やおやつに提供させていただきました。今後もお子さまたちにとって「たのしい・おいしい」お給食を目指しながら、保護者の皆さまへもご満足いただけるように努めたいと思います。

項目 8) 不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員はきちんと対応してくれていると思いますか

こちらについては「どちらともいえない」とご回答されたかたが 3 割の結果となり、一部の保護者さまへご不安を与えてしまった点については猛省しております。保護者さまとのコミュニケーションの方法として、連絡帳や送迎時のやり取りなどがございますが、ご意見やご相談を受けた際に丁寧な対応ができていたか、また保護者さまが相談しやすい雰囲気づくりができていたかを振り返り、今後の改善に努めてまいります。

項目 9) 当園に満足されていますか

こちらは 6 割の方にご満足いただいている結果となりましたが、当園をご利用される全ての方にご満足いただけるように、皆さまのご意見も頂戴しながらより良い保育運営に繋がっていただけるように精一杯取り組んでいきたいと思っております。

2. 職員自己評価に関して

職員一人ひとりが今後も向上心をもって業務に取り組めるように、これまでの 1 年を振り返りながら課題点も含めてご報告させていただきます。

・当社姿勢目標の順守に関して

① 困難なことに自ら取り組む

個々の持つ能力を伸ばせるよう職員のチャレンジしたいという気持ちを大切に、積極的に取り組んでもらえるような環境づくりを心掛けてまいりました。

「できない」理由を探すのではなく「できる」工夫を職員間で意見を出し合いながら取り組む姿も見られました。

② 報連相の徹底

園児引継ぎ表や職員共有の連絡ノートを活用し、情報共有を行っておりますが、ノートに書いた＝職員間で共有できているという思い込みで、一部の職員が把握できていなかったという場面もございました。ノートを活用するだけでなく、口頭でも共有した上で記録をとっていく方法を全職員が認識し、共有の漏れがないように引き続き指導してまいります。

③得意分野の深化

ピアノが得意な保育者、作り物が好きな保育者など各自が得意とするものを互いに把握し、連携を取りながら業務に取り組む姿がみられました。

それぞれの保育技術向上のため、ピアノが苦手な保育者は得意な保育者に教えてもらったり、ピアノに代わり様々な手遊びを習得して披露したりなど楽しみながら各自の能力の向上に繋げていけたらと思います。

④規律の順守

社内ルールを守りながら互いに気持ちよく働けるように、まずは元気な挨拶を習慣としました。出勤してからの「おはようございます」退勤する際の「お疲れさまでした」業務中のやり取りの中での「お願いします」「ありがとうございます」を全職員が意識して取り組むことができていたと思います。

⑤安心・安全な労働環境の確保

5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)の励行については、整理整頓の部分で改善が必要だと感じています。限られたスペース内での収納の工夫もそうですが、保育室の玩具棚や絵本棚など子どもたちが自ら出し入れしやすいようにし、使い終わったあとの片付けの習慣を楽しく身につけられるようにしていきたいと思っています。

休憩はお子さまのお昼寝の時間帯に、ローテーションで1時間ずつとっていただいております。休憩中は自分の時間をもてるように保育室の一角にスペースを設けています。業務状況などにより休憩時間の確保が難しくなりそうな時は、互いに声をかけ合って協力できるようにしています。

・コードモンを用いた保育計画に関して

2022年7月からコードモンに移行し、保護者さまとの連絡帳ツールの他、保育の指導カリキュラムもデータ上で管理しているため、書類の持ち運びの必要がなく、また保育者間での情報共有もスムーズだと感じております。移行のタイミングが年度途中だったこともあり、一部の保育書類は未だ紙ベースで行っているため次年度にはコードモンへ完全移行できるように進めております。

保育計画を作成する際に、これまで策定した文例やコードモンに登録されている文例など参考にできるものもあり、必要に応じて活用しながら業務効率化を図っています。

また現在の子どもの姿をもとに次週のねらいを立て、日々振り返りながら次の保育に繋げていくための管理がしやすくなったと思います。

今後もコードモンの機能を存分に活用しながら、お子さんたちのためのより良い保育を実践していけたらと思っています。

- ・保育の成果集(Libro)に関して

Libroとは日々の保育の中で感動を伴う成果があった際に、その場面や環境設定、保育手順などを記録し社内で共有するシステムですが、今年度は「記録をとる」という習慣が定着していなかったように思います。

自身の保育を振り返りながらスキルを磨くこと、また互いに情報を共有しながら保育の視野を広げるためのツールとして活用できるよう働きかけていきたいとします。

- ・子どもとの正しい接し方(Luce)に関して

保育と子どもの発達に関する研究を通してイギリスで開発された保育プロセスの質評価スケールに基づいて、保育者一人ひとりが保育を振り返るためのシステムを導入しておりますが、園内における全ての保育者への共有ができておらず、「一貫性のある保育」を行う上で努力が必要だと感じております。

今後は園内に掲示するだけでなく、定期的にミーティング等で共有したり、保育者との面談を通して保育の振り返りを行ったりしながら、「子どもの発達に繋がる正しい接し方」のスキルを向上させていければと思います。

3. 園としての自己評価に関して

- ・当社（全園共通）の保育理念（国際人を育成する）に関して

現在の豊かな生活が未来へも繋がっていけるよう、幼少期のお子さまに対する丁寧な関わりを通して健全に生きるための生活習慣の形成を促し、一人ひとりの個性を大切にしながら、お子さんが自分に自信をもって他者とも積極的に関わっていきながら互いに成長し合える人間関係を築けるように援助していきたいと想っております。

また幼少期に培った経験を通して将来、国際社会で活躍できる人材となれるよう保育カリキュラムや日々の関わりの中で様々な経験ができるようにしていきたいと考えております。

- ・当園の保育目標に関して

全園共通の保育理念達成へ向けて当園独自で掲げている保育目標について以下にご紹介させていただきます。

○食育目標

【0歳児】

- ・安定した人間関係の中でミルクを飲んだり、離乳食を食べたりしながら心地よい園生活を送る。
- ・色々な食べ物を「見る」「触る」「味わう」経験を通して自ら食べようとする。
- ・明るく楽しい雰囲気の中で食事ができるように言葉がけをしながら援助する。

【1歳児】

- ・たくさんの食材に触れることで様々な食感や味を知り、食べる喜びを体験する。
- ・楽しい空間でバランスの良い食事をするすることで、心身ともに健康な体づくりの基礎を育む。

【2歳児】

- ・スプーンやフォークなどの食具を正しく使うことで食べこぼしを減らし、残さず食べられるようになる。
- ・バランスよく食べることにより健康な体を育む。

○体育(+睡眠教育)目標

【0歳児】

- ・歩行が安定してきた子どもには、手を繋いで一緒に歩いたり、追いかけてっこをしたりして歩くことの楽しさを共感しながら伝える。
- ・ハイハイやずりばいの子どもには、動くことが楽しくなるような声かけをし、たくさん動くことを促す。
- ・質の良い睡眠をとるために日中は十分に体を動かし、しっかり食べて規則正しい生活を送れるように援助する。

【1歳児】

- ・テクノロジーなどの発展が身近となる以前の乳幼児期の遊びや基本的な生活習慣を通して自ら積極的に体を動かし、発見することの楽しさを味わう。
- ・楽しく体を動かすことで心地よい疲れを感じ、安心した環境の中で脳も体もゆっくり休めて健全な生活習慣が形成されるように援助する。

【2歳児】

- ・ダンスや体操などが苦手な子どもたちが楽しく参加できる遊びを提供し、体を動かす喜びが体験できるようにする。
- ・気持ちよく睡眠がとれるような環境をつくり生活習慣を整えていく。

○徳育目標

【0歳児】

- ・子どもたちの気持ちを十分に受けとめ、抱っこをたくさんしたり、ハグをしたりとスキンシップを図りながら保育者の愛情を伝え、安心して園生活が送れるようにする。

【1歳児】

- ・保育者が身近な社会の代表の一人として関わっていく中で、ルールがあることを伝えていく。

- ・様々なルールの中でも友だちや保育者と安心・充実した生活を通して自分らしさを発揮し、認められる心地よさを知る。

【2歳児】

- ・お互いの気持ちを尊重しながら他者との関係を築けるようになり、相手の気持ちも理解できるようになる。

○知育目標

【0歳児】

- ・色々な感情や自我が少しずつ芽生えてくる時期なので、子どもたちの気持ちを十分に受けとめていく。
- ・子どもが喜ぶことや楽しんでいることを一緒に楽しみ共感しながら、表現することの楽しさを伝えていく。
- ・日々の生活や遊びの中で楽しく言葉がけをすることで表現力を培ったり、絵本の読み聞かせや手遊び歌を通して色々な言葉に触れたりして楽しむ。

【1歳児】

- ・遊びや生活の中で自ら考えて行動できるような言葉がけをしていき、その事柄や場面にに対してどのように対応していくのかを子どもたちが学べるように保育者が仲立ちとなりながら援助していく。
- ・様々な体験ができるように、一人ひとりの興味や発見を大切にしながら熱中できることに会う入り口を増やしていく。

【2歳児】

- ・伝えたい気持ちを言葉にしたり、保育者の言葉を真似たりすることで語彙が増え、表現する力を身につけながら他者とのコミュニケーションを楽しむ。

○SDGs(自然環境保護教育・人権教育目標)

【0歳児】

- ・この時期はまだ言葉がでないため保育者の表情をよく見ているので、一つひとつの表現や言葉かけを大切にしながら愛着関係を形成していく。

【1歳児】

- ・水や食料、玩具などが「永遠にあるもの」ではないことを知らせていく。
その中で「もったいない」「大切に」という心がけをもてるようになる。
- ・保育者を介して自身や他者の感情を知り、「思いやり」や「優しさ」に触れる。

【2歳児】

- ・散歩や絵本などを通してたくさんの自然に触れ大切さを知る。
- ・性別にとらわれない保育を行うことで、平等な関わりが理解できるようになる。

以上が理念達成のために当園が日々取り組んでいる保育目標となっております。

お子さんたち一人ひとりに個性があるように、保護者の皆さまや私たち保育者一人ひとりにも個性があり、その多くの人たちとの関わりの中で、何が一番お子さんの育ちのために良いことであるのかを共に考え、形にしていくものが保育の在り方であると考えております。その時、その時に出会ったお子さんを前にして良い関わり方ができること。将来、活躍するお子さんたちの未来のために必要となる力を育むために保育者としてできることを常に考え、スキル磨きを怠らず、向上心をもって保育にあたれるように職員一同、精一杯取り組んでまいりたいと思います。

今年度は年度途中の職員の入れ替わりなどもあり、保護者の皆さまにはご心配をおかけすることもあり申し訳なく思っております。そんな中でも皆さまの温かいご理解とご協力があったからこそ、私たちも日々お子さまたちの成長を見守りながら遣り甲斐をもって進めることができたと思っております。心より感謝申し上げます。

新年度もお子さまたちの豊かな成長へ繋がるような保育を目指し、一人ひとりが満ちたりた時を過ごせるように援助していきたいと思っております。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。